

テスト作業に付きまとう問題点

- **今見つけたバグがソフトウェアに潜む最後のバグかどうか判断できない。**

- テストにかかるコストの問題
- テスト作業をどこで終わらせるかという問題



- テストによって、
「このプログラムにはまったくバグが存在しない」
＝「このプログラムは正しい」

ことを示すことはできない。

- ソフトウェアに対して、**考えられるすべての入力をテストで実行させようとしても、テストに要する時間が膨大になる！**
 - 可能な入力の組み合わせが多すぎる
 - プログラムが取りうる実行パスの数が多すぎる
 - ユーザインタフェース(およびその設計)が複雑すぎる

リスクを考える

- バグがどうやっても発生してしまうならば、発生してしまうバグのインパクトを小さくさせることが鍵
 - フェイルセーフ(Fail-Safe)の考え方
 - 壊れる時は、安全側に！
- リスクベースドテストの考え方
 - システムの機能に対し、
障害発生の可能性と
障害発生時の影響
とを段階化することで、リスク度を算出し、
リスク度の高い順に集中的にテストする。

